

別表 2

審査における行射の要領（5人立ちの場合：弓道衣着用、和服着用共通）

	1番	2番	3番	4番	5番
甲矢	間をおかず行射する。	1番の「胴造り」の終わる頃立つ。 1番の弦音で取懸け、打起し行射する。	1番の弦音で立つ。 2番の弦音で取懸け、打起し行射する。	2番の弦音で立つ。 3番の弦音で取懸け、打起し行射する。	3番の弦音で立つ。 4番の弦音で取懸け、打起し行射する。
乙矢	4番の弦音で弓を立て矢を番えて待つ。 5番の弦音で立ち、間をおかず行射する。	4番の弦音で弓を立て矢を番えて待つ。 1番の「胴造り」の終わる頃立つ。 1番の弦音で取懸け、打起し行射する。	4番の弦音で弓を立て矢を番えて待つ。 1番の弦音で立つ。 2番の弦音で取懸け、打起し行射する。	5番の弦音で弓を立て矢を番えて待つ。 2番の弦音で立つ。 3番の弦音で取懸け、打起し行射する。	射終われば直ちに弓を立て矢を番えて待つ。 3番の弦音で立つ。 4番の弦音で取懸け、打起し行射する。

審査における行射の注意事項（弓道衣着用、5人立ちの場合）

- 1 射場への入退場にあたっては、必ず上座に意を注ぎ、順次礼（揖）をする。
- 2 本座に進み、跪坐し、揃って揖を行い、射位に進む。
- 3 射位で跪坐し、脇正面に向きを変え、弓を立て矢を番えて待つ。
- 4 射終わったら1番より順次退場する。
- 5 次の控えは、3番の乙矢の弦音で入場し、本座に進み跪坐し、5番の弦音で揃って揖を行い、最後の射手が後退するとき射位に進む。
- 6 行射の前後動作が殊更に間延びしないようにする。
- 7 立射と坐射で動作が違う場合は、立射の射手は坐射の射手の動作に合せること。要領は「弓礼・弓法問答集改訂版（平成28年4月1日施行）巻末『立射の作法』」を参照すること。

審査における行射の注意事項（和服着用、5人立ちの場合）

- 1 射場への入退場にあたっては、必ず上座に意を注ぎ、順次礼（揖）をする。
- 2 本座に進み、跪坐し、揃って揖を行い、脇正面に向きを変え、男子は肌ぬぎ、女子は襷さばきを行う。的正面に向きを変え、射位に進む。
- 3 射位で跪坐し、脇正面に向きを変え、弓を立て矢を番えて待つ。
- 4 射終わったら1番より順次退場する。
- 5 次の控えは、5番の甲矢の弦音で入場し、以下（注）2に準ずる。5番の弦音で立ち、最後の射手が後退するとき射位に進む。
- 6 行射の前後動作が殊更に間延びしないようにする。
- 7 立射と坐射で動作が違う場合は、立射の射手は坐射の射手の動作に合せること。要領は「弓礼・弓法問答集改訂版（平成28年4月1日施行）巻末『立射の作法』」を参照すること。